



これからの進路を考える

昨日12月7日は、二十四節気の「大雪（たいせつ）」。
本格的に冬が到来するころを指します。山々は雪に覆われ、
平野にも雪が降り積もります。新しい年の準備を始める「正
月事始め」もこの時期から行われます。

さて、来週から1、2年生の三者面談が始まります。通
信簿の所見欄廃止等に伴い、今年度から全てのご家庭を対
象とさせていただきます。この面談を通じて、普段
の学校生活や家庭での様子などを共有し合い、生徒一人
一人の課題を明らかにして、新年以降の更なる成長・向上に
つなげていきたいと考えています。

この時期の面談で話題になるのは、進路に関すること
です。進路指導＝高校入試ではありませんが、現在の3年生の動きを、下級生が近い将来
に待ち構えていることとして注目し、「自分事として考える」のはよいことです。生徒
自身が将来の夢や目標を叶えるために、「今の自分に出来ることは何か」を考える機会
としてほしいと思います。そこで、10月の「入試説明会」資料の一部を紹介します。



秋田県学習状況調査の様子（2年生）

3年生の「入試説明会」資料より（概要）

1 高等学校合格は「ゴール」ではなく新たな「スタート」である

将来の職業や自分の適性を考えるなど、自分の将来まで見据えて進路を決めることが大切です。
人生最初の関門である「高校入試」は、目先の「合格」だけにこだわって高校を選択してはなり
ません。その先の進路を踏まえた選択でないと、高校入学後の学習意欲に大きな差が出てきます。

理科や数学が苦手な興味薄いのに工業高校を選択しても、苦しい3年間を送ることになります。
高校卒業後は大学進学したいのか、専門学校へ進学したいのか、就職したいのかを含めて高
校選択を検討する必要があります。

高校合格は、将来への希望に一歩近づくに過ぎないと考えた方が賢明です。保護者の方々には、
本人の将来のために真剣な話し合いをもち、将来の方向を見定めてほしいと思います。

2 勉強に近道はない

試験問題は、中学校の学習内容を超えることはありません。3年間の英単語をきちんと身に付
ける。計算問題を何度も繰り返し解く。暗記するものは「書いて覚える、声に出して覚える」。
当たり前のように勉強していることを、当たり前のようにこなす努力をするだけです。楽ができ
る近道は存在しません。「わからない」「無理だ…」とあきらめる前にまず努力が必要です。

この努力は「入試」だけでなく、今後の人生の「糧（かて）」に必ずなるものです。

3 相手を知る

全国学力・学習状況調査の影響からか、単に答えを出す問題よりも、考え方を問う問題が増え
てきていると感じています。知識の定着だけでなく、さまざまな思考の仕方を身に付ける必要が
あります。県では出題の基本方針を、各高校では「求める生徒像」をHP等で公開しています。
私立も含め、入試のしくみや状況、昨今入試情報を正しく把握することが大切になってきます。

話題の図書を寄贈していただきました

先週に引き続き、地域の方より、図書を寄贈していただきました。
いつも本校に多くの図書を寄贈してくださりありがとうございます。

今回は、マンガの週刊誌も含まれていてびっくりしました。調べ
てみると「生成AI（人工知能）が、人間の創作能力にどれだけ貢
献できるのか。その可能性と課題を探ること」をねらいとして6月
に制作発表された「ブラックジャック」。その完成した作品が掲載さ
れた「週刊チャンピオン」です。様々なメディアで取り上げられて
いる話題の作品です。

この他に「ビジュアル版 一冊でつかむ源氏物語」（右）をいただき
ました。古典や歴史で学んだことをより深めることができそうです。



令和5年度 本市の全国学力・学習状況調査結果

1 調査の概要

本調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学習指導の改善を図る目的で、平成19年度から実施されています。全国の小学6年生と中学3年生が対象で、今年度は令和5年4月18日（火）に実施されました。

2 調査の内容

調査内容は、小学校が国語と算数、中学校は国語と数学に加え、英語が実施され、学習指導要領で育成を目指す、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題が出題されました。また、調査する学年の児童生徒を対象とした学習習慣や生活習慣等に関する児童生徒質問紙調査と、各学校の校長が回答する教育環境等に関する学校質問紙調査が実施されました。

3 秋田県と全国の比較（今年度も、県の平均正答率は整数値で発表されています）

〈小学6年 平均正答率(%)〉

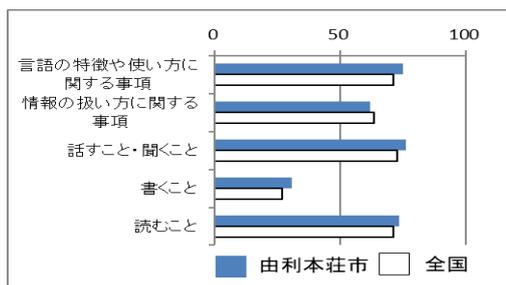
	国語	算数
秋田県	72	65
全国	67.2	62.5

〈中学3年 平均正答率(%)〉

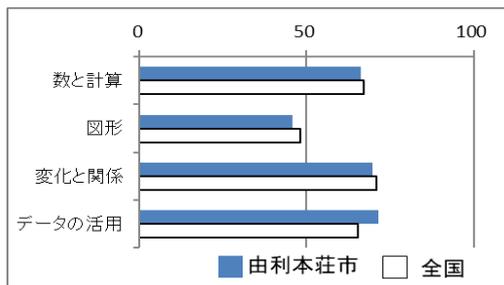
	国語	数学	英語
秋田県	74	52	44
全国	69.8	51.0	45.6

4 本市の結果について（授業改善に生かすため、領域ごとにグラフでの比較としています）

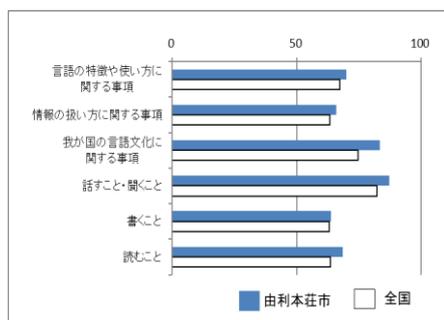
〈小学校国語〉



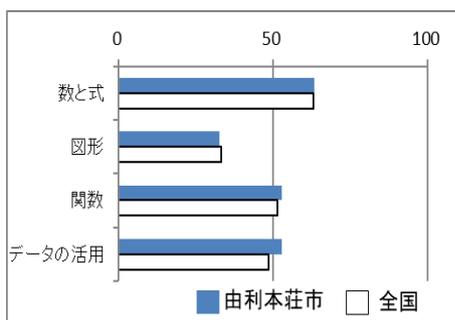
〈小学校算数〉



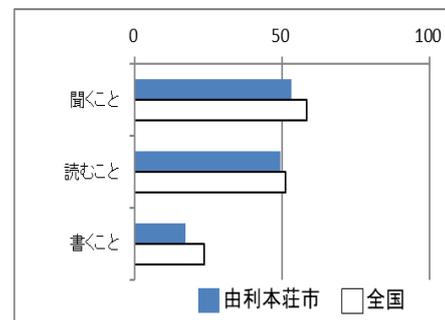
〈中学校国語〉



〈中学校数学〉



〈中学校英語〉



質問紙調査からは、小学校・中学校とも、将来の夢や目標をもち、自分自身を肯定的に捉えながら、学校に前向きに通っている児童生徒の割合が年々増加していることが分かりました。各学校における授業実践や先生方の関わり方が児童生徒によりよく反映されていること、保護者が温かく我が子に接していることが分かる結果となりました。その一方で、1日あたりの学習時間は減少傾向にあります。放課後や家庭における有益な時間の使い方について、さらに改善していく必要があると思われます。